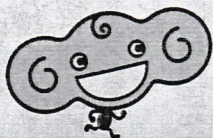


2013年(平成25年)10月30日 水曜日

読もう!



命の大切さを知り、思いやりの心を育んでもらおうと、松山市猿川原の立岩小学校で29日、ウサギやカメなど「動物とのふれあい教室」があり、全校児童26人が接し方を学んだり、心臓の音を聞いたりして動物との時間を楽しんだ。

県獣医師会(寺町光博会長)が毎年、県内の複数の小学校で実施。県立

動物知って命学んで

松山・立岩小で教室 獣医ら児童に助言



ウサギの心臓の音を聴診器で聞く立岩小児童

とべ動物園も協力している。この日は会員ら8人が、ニシキヘビやハリネズミなど11種類25匹ほどを連れて訪れた。とべ動物園教育衛生係

の宮内敬介さん(49)が、動物と仲良くなるには「動物をよく知ってあげるのが大切」とアドバイス。飼育は「命を預かるということ。餌の食べ方や行動をきちんと観察して」と呼び掛けた。児童はモルモットやウサギを優しくなで、聴診器で自分の心臓の音と比べると「とても速い」「走っているみたい」と笑顔を見せていた。

(渡部聡弓)